

町田通勤寮だより

NO 91 2022年3月

社会福祉法人つるかわ学園 町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042(739)0491

巻頭言

寮長 三階 広明

日々のトップニュースが「北京」から「ウクライナ」に変わった中で迎えた「3・11」でしたが、私が印象に残ったのは、原爆ドームの前に描かれた「3・11」の灯りでした。折しもチェルノブイリ原発がロシア軍の攻撃によって電源を喪失したとのニュースが流れた後の映像でした。コメントの中では「核」の被害の大きさ、悲惨さから「あつてはならないこと」としてチェルノブイリの現状を伝えていました。いつの時も世の中が危うくなった時に真っ先に犠牲になるのは弱い立場にある存在です。これ以上犠牲者が増えないことを願っています。

3月から4月は異動の季節です。つるかわ学園でも職員の異動があります。法人開設時には法人で一つの施設しか運営していなかったため「異動」は無かったのですが、事業所が増えていく中で「異動」を検討する必要がありますが、現実的に生まれてきました。「人材育成」の一つとして捉えています。個人・組織は「欠員の補充」の要素が大きかったのも事実だと思います。

の成長のためには必要なことですが、全てが個人の思いに沿ったものとはならないのも事実です。それぞれがそれぞれにおかれた「場」で活躍してくれることを願っています。

さて、新年度の保護者会について、開催回数、内容等の検討をしています。現在は年間六回、奇数月の第二日曜日に開催していますが、年四回(四月、七月、十月、一月)の第二日曜日に変更したいと考えています。新年度については、四月の予定が詰まっているため、五月の開催を検討しています。詳細が決まりましたら、改めてお知らせしたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

いつもの事ながら私の原稿が遅くなって発行が遅れています。内容がタイムリーでなくなっている話題もあるかもしれません。現在準備しているのは本来三月の月上旬に発行予定のものです。申し訳ありません。

町田通勤寮 オンライン説明会

支援員 佐々木 宏典

毎年、様々な特別支援学校に対して、町田通勤寮について説明会を開催しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、八王子特別支援学校協力のもとオンライン説明会を開催させて頂きました。初めて試みだったため、こちらもドキドキしながらやっておりましたが、皆さん真剣に聞いてくださり、質問も多くしていただきました。通勤寮を実際に利用している卒業生から生活内容をお話して頂く、通勤寮のホームページを見てもいいながら、食事の内容・通勤寮の1日など説明しました。通勤寮という仕組み自体を知らない人が多い中、こういった機会をきっかけに興味を持ってもらい、皆さんの将来の自己実現の選択肢が1つでも増えてくれることを願っております。

防災講座

支援員 佐々木 宏典

2月に防災講座を行いました。例年では横浜市にある防災センターに行き、そちらで防災体験等行っておりまし。しかし、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、防災センターが休館となつてしまいました。通勤寮としても感染防止を考慮し、職員による講座を開く事となりました。内容は地震や火災の際にどのような危険があり、気をつけなければならぬのか、東京消防庁の動画をもとに資料を作成し皆さんに受講していただきました。特に火災の時に発生する一酸化炭素による中毒の危険性については、危険なのは知っていたが、実際にどのようなように危険なのか知らず、驚いていた方も多くいました。通勤寮では毎月避難訓練を行っているため、その際により一層気をつけて取り組んでもらえればと思っております。

地域生活講座

支援員 小林 美樹

3月10日に今年度2回目の地域生活講座を開催いたしました。最初に通勤寮に入ってから生活の振り返りも行うためにチェックリストを作成し記入してもらいました。皆さん正直に出来ている事、もう少し頑張る事など自己評価していました。そして、そもそも『地域生活』って何？という事から説明を始めました。

通勤寮は福祉施設です。福祉施設とは・法律で定められている規定に基づいて社会の福祉のために作られている施設のことを言います。利用する際には費用の負担を軽減できる保障制度も用意されています。例えば、通勤寮では家賃(部屋代)は支払わなくても良いです。でも利用期間は2

年と決まっています。通勤寮出た後には『地域生活』が始まり、大きな違いは家賃(部屋代)を支払う事です。その他、騒音・勧誘・防犯についても説明を行い注意すべき点と伝えました。いつか一人暮らしを試みたいと・利用者さんの多くが望んでいます。最後に補足資料として『一人暮らしで経験した困ったことランキング20位』を読み上げていくと多くの利用者さんから「有る！有る！」との発言が聞こえてきました。目標の一人暮らしまでに、どんな事が必要で準備をしていけば良いのか少しでも理解していただけたようで良かったです。

最後に成りましたが、人事異動で法人内の他事業所『りんく』へ4月から異動と成ります。新職場でも微力ながら努めていこうと思っております。今迄色々とお世話になりました関係機関の皆様ありがとうございました。

町田通勤寮様…お世話になりました

主任支援員 武智 里峰

法人内異動で通勤寮に来て7年が経過しました。本当にあつたという間の7年間、色々な利用者さんや、施設の中では絶対交流のなかった関係者の方々(地域センター・支援学校の先生・職場の関係者の皆様等々)との関わりを持つことができ、『出会い』を経験する事が出来ました。施設にいた頃は、人との関わりを好まなかった方ですが、実際お会いしお話しする事で、色んな事を吸収し、情報を共有し、社会との関わりを持つ事もでき、違う世界を見せて頂きました。このような経験をさせていただき、関係者の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいでございます。次は、支援センターソラールに行きます。また新たな出会いと、新たな業務に向き合う事となり、気持ちさがソワソワしておりますが、心機一転、気持ちを切り替えて努めてまいります。

関係者の皆様には、個別にご挨拶ができず大変失礼かと存じますが、

この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

調理実習

調理員 高橋 典子

2月27日に今年度最後の調理実習を行いました。

「風邪に負けない 栄養たっぷり料理」と題して、利用者さんの「沖縄料理を食べたい。」というリクエストに応えて、沖縄そば・沖縄スパムポーク卵おにぎり・豆腐チャンプル・沖縄もずくとツナ・玉ねぎ・きゅうりのサラダの4品を作りました。今回は、6名の参加でした。初参加の方もいらっしやいましたが、調理経験のある方でしたのでスムーズに出来ました。今年度最後の総まとめとして、野菜を包丁で切る・手でちぎる・炒める・茹でる・煮る・冷凍食品の便利さの再確認等、調理をしながら復習する事が出来ました。皆さん初回と比べると包丁も上手に使える様になり、調理に対して積極的に行動する事が出来ました。沖縄そばは、時間を計って茹でましたが、少し茹ですぎた様で、「沖縄そばは、もう少し固い麺だと思っていた。」という声もありましたが、皆さんで力を合わせて作った料理を達成感を噛み締めながら美味しそうに食べられていました。

来年度も調理実習を行う予定です。自炊をする時に役立つ事を一緒に学べる様に計画を立てて行きます。皆様のご参加お待ちしております。



調理職員 紹介

栄養士・調理員 遠藤 小百合

2022年2月より、新しい調理員の「大橋 とも子」さんが入られました。大橋さんは朝食担当で今までの調理の経験を通勤寮で生かしてみたいと、調理の仲間に加わって下さいました。

大橋さんからのコメントです。

栄養士さんが立てて下さった栄養バランスの良い献立で、利用者さんの1日の活力源となる朝食作り頑張ります。宜しくお願い致します。

みなさまどうぞ よろしくお願致します。

行事食 紹介



今後の主な予定

4月3日(日) オリエンテーション

次回保護者会予定

5月15日(日)

◆町田通勤寮だよりのバックナンバーはつるかわ学園公式HPよりご覧になれます。

上 麺メニュー

中 ひな祭り

下 誕生日メニュー